

2016年11月吉日

国際女性会議「WAW! 2016」シャイン・ウィークス公式サイドイベント
「女性の健康を考える国際シンポジウム」のご案内

謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当教室では12月7日に「女性の健康を考える国際シンポジウム」を開催する運びとなりました。直近のご案内となりますが、ぜひともご参加いただきたくご案内申し上げます。

社会全体で女性の活躍を推進する機運が高まっている中、女性が輝く社会づくりには女性が健康であることが欠かせません。本シンポジウムでは、第一線で活躍されている専門家の先生方をお招きし、経済成長における女性の健康の重要性、女性の健康に関する課題そして、女性の健康促進のベストプラクティスについて議論します。

今回ご登壇頂くのは、神戸市立医療センター中央市民病院産婦人科副医長、京都大学医学部附属病院産科婦人科非常勤研究員の池田裕美枝先生、NPO法人「ルワンダの教育を考える会」理事長の永遠瑠マリールイズ先生、そして日本医療政策機構 副事務局長の小山田万里子先生です。

産婦人科医である池田先生は、女性医学・女性のヘルスケアの専門家として幅広くご活躍されています。マリールイズ先生は、日本及びルワンダにおいて教育支援活動に取り組まれており、2014年に外務大臣賞を受賞されています。本シンポジウムでは、女性の健康教育という視点からご意見を頂きます。そして、小山田先生は女性の健康プロジェクトを統括されており、女性の健康増進が社会にもたらす影響について、社会経済的側面からご研究をされています。

なお、女性の活躍、女性の健康に関連する政府関係者もお招きする予定です。

女性の活躍と女性の健康促進に高い関心を寄せられている皆様を、本シンポジウムにお迎えすることを楽しみにしております。多数のご参加をお待ち申し上げます。

謹白

東京大学大学院 医学系研究科
国際保健政策学教室
教授 渋谷 健司

国際女性会議「WAW! 2016」シャイン・ウィークス公式サイドイベント 女性の健康を考える国際シンポジウム

日時：2016年12月7日（水）、午後3時30分～午後5時（開場午後3時）
場所：東京大学本郷キャンパス 鉄門記念講堂（医学部教育研究棟14階）
東京都文京区本郷7-3-1



参加費：無料（事前登録制）

その他：同時通訳あり

主催：東京大学大学院 医学系研究科 国際保健政策学教室

共催：MSD 株式会社

後援：在日米国商工会議所、厚生労働省（申請中）、外務省（申請中）

登壇者：

神戸市立医療センター中央市民病院産婦人科副医長、京都大学医学部附属病院
産科婦人科非常勤研究員 池田裕美枝先生

NPO 法人「ルワンダの教育を考える会」理事長 永遠瑠マリールイズ先生

日本医療政策機構 副事務局長 小山田万里子先生

その他、女性の活躍、女性の健康に関連する政府関係者もお招きする予定です。

お手数ではございますが、出欠につきましては添付のファックス返信用紙もしくは、メールにて12月5日（月）までにご回答賜りますようお願い申し上げます。

<本件に関するお問い合わせ先>

女性の健康を考える国際シンポジウム事務局

（株式会社ジャパン・カウンセラーズ内 担当：村田、青木）

Mail: joseinokenko@jc-inc.co.jp TEL: 03-3291-0118 FAX: 03-3291-0223

国際女性会議「WAW! 2016」シャイン・ウィークス公式サイドイベント
女性の健康を考える国際シンポジウム

登壇者のご紹介

●池田裕美枝先生

神戸市立医療センター中央市民病院産婦人科副医長
京都大学医学部附属病院産科婦人科非常勤研究員



2003年京都大学医学部卒業

舞鶴市民病院、洛和会音羽病院にて総合診療科研修後、三菱京都病院産婦人科、洛和会音羽病院総合女性医療健康センター勤務を経て現職。

2011年リバプール熱帯医学校リプロダクティブヘルスディプロマ終了、2013年米国内科学会 IFEP にてメイヨークリニック女性内科研修

NPO 法人女性医療ネットワーク理事

●とわり 永遠瑠マリールイズ先生

NPO 法人「ルワンダの教育を考える会」理事長



1965年ルワンダ人の父親の赴任先であるコンゴ民主共和国に生まれる。1985年 技術高等学校に洋裁の教師として赴任し、1993年青年海外協力隊カウンターパートナーとして福島文化学園にて洋裁の研修を受ける。

1994年ルワンダへ帰国後、同年4月7日内戦勃発。子供3人を連れ、隣国のコンゴ民主共和国の難民キャンプに逃れる。難民キャンプで偶然 出会ったアムダの日本人医師の通訳となる。

1994年、研修生時代の友人らの尽力により家族で再来日を果たし、2000年10月に「ルワンダの教育を考える会」を立ち上げ、キガリ市内に学校を設立。命の尊さ、教育の大切さを訴える活動で全国を駆け回り、現在も継続し教室の拡大、図書館や給食室も設置している。2011年3月には在住する福島において東日本大震災で被災、原発事故を経験。以後、避難所（後の仮設住宅）でのボランティア活動を行っている。

2012年に日本国籍を取得し、2014年8月日本とルワンダとの相互理解の促進活動が認められ、外務大臣表彰を受賞。

●小山田万里子先生
日本医療政策機構 副事務局長



千葉県出身。明治大学経営学部経営学科卒業。在学時は非営利組織経営論・人類学（国際）を専攻。大学卒業後、経営コンサルティング会社に入社、日本企業に対する海外進出支援コンサルティングに従事。特にインドなどの新興国市場におけるヘルスケア、消費財、電力・水力等の公共インフラ分野における市場開拓のためのリサーチ、戦略立案に関するプロジェクトに携わる。2012年より日本医療政策機構に参画。経営企画、採用・教育、広報を担当するほか、女性の健康に関する調査研究等の政策プロジェクトをヘルスケア関連企業、国際機関・団体と連携して多数企画実行。日本医療政策機構以外にも、これまで複数のNPO法人の立ち上げや運営、グローバルレベルでの健康や女性をテーマとした啓発活動にも参画している。

なお、女性の活躍、女性の健康に関連する政府関係者もお招きする予定です。

返信ファックス番号:03-3291-0223
返信e-mail送信先:joseinokenko@jc-inc.co.jp

月 日

国際女性会議「WAW! 2016」シャイン・ウィークス公式サイドイベント

女性の健康を考える国際シンポジウム

日 時: 2016年12月7日(水)午後3時30分～午後5時(開場午後3時)

場 所: 東京大学本郷キャンパス 鉄門記念講堂

お手数ですが本用紙にご記入の上、ファックスにてご返信、もしくは下記
事項をメールにて12月5日(月)までにご返信願います。

ご出席 ・ ご欠席

ご芳名/Name	
ご同伴者名/Guest	
ご所属/Affiliation	
お役職/ Title	
ご住所/Address	
Tel	
E-mail	